



■新刊書速報

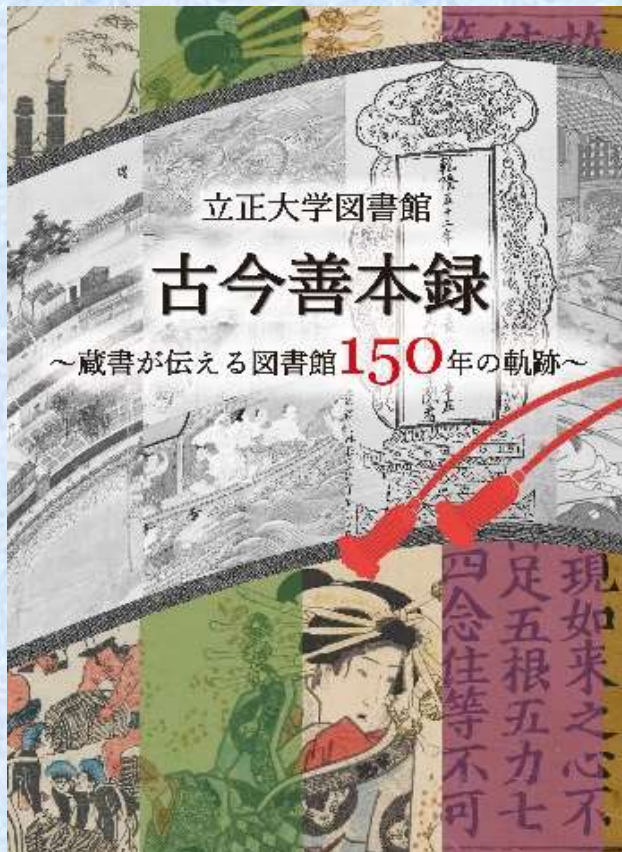
KF-2237/July 2023

好評発売中!!

和漢洋150点の稀観書と立正大学図書館史を収録

『立正大学図書館 古今善本録 —蔵書が伝える図書館150年の軌跡—』

発行：立正大学図書館 編集：立正大学品川図書館 発行日：2023年6月30日
装丁：A4 カラー ページ数：249p ISBN：978-4-907075-09-5 定価：¥16,500(税込)



目次

ごあいさつ (立正大学図書館長 小浜 ふみ子)
発刊によせて (立正大学長 寺尾 英智)
凡例

第1部 善本150選
第1章 日蓮と日蓮宗
第2章 古刊本・古活字版
第3章 物語と和歌
第4章 異国関連資料
第5章 絵図と双六
第6章 書写資料・自筆本
第7章 西洋古版本

参考文献一覧
掲載資料一覧

第2部 立正大学図書館の歴史
第1章 図書館のあゆみ
第2章 蔵書の分類とその変遷
第3章 蔵書の来歴と文庫
掲載図所在一覧
歴代図書館長・分館長(副館長)一覧

索引
執筆者・協力者一覧
あとがき
編集後記

販売総代理店 極東書店

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD
Kanda, Tokyo 101-8672, JAPAN

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒604-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル 6F
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

TEL 03(3265)7531 FAX (3556)3761
TEL 075(353)2093 FAX (353)2096
TEL 092(751)6956 FAX (741)0821

URL:<http://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail:info@kyokuto-bk.co.jp

発刊にあたり

立正大学は、明治5年(1872)芝二本榎(現在の東京都港区高輪)の承教寺に日蓮宗小教院が設置されたことをもって開校の起点とします。その後、大檀林、日蓮宗大学等の変遷を経て、大正13年(1924)に旧制の立正大学となります。旧制大学時代は文学部のみの単科大学でしたが、現在は9学部、大学院7研究科を擁する総合大学となり、令和4年(2022)には開校150周年を迎えました。

大学の図書館は、その大学の個性を反映する鏡です。本学図書館の蔵書を紹介するものとして、今までも『立正大学蔵 日蓮宗関係蔵書目録』『立正大学蔵 溝之口宗隆寺島田文庫目録』『田中啓爾文庫目録』『立正大学図書館蔵明版仏典解題目録』『立正大学図書館所蔵明代南蔵目録』『河口慧海旧蔵資料解題目録』などが刊行されていますが、これらは特定分野や特殊文庫などに絞られたものでした。そこで開校以来の歴史の中で培われ、教育・研究の基礎を支えてきた本学の書物たち全体から、選りすぐりを紹介することになりました。収載された書物は、九牛の一毛にすぎません。高麗版一切経など著名なものでも、限られた紙数であるため未収録となったものが数多くあります。しかしながら、本学図書館の特色がよく窺えるものとなっています。また、開館以来の歴史、蔵書の来歴についてもまとめられました。

本書の刊行が契機となり、本学図書館の特徴が周知されると共に、より一層の活用が図られることを念じています。

立正大学長 寺尾 英智

推薦文

大学図書館の蔵書は、その大学の成り立ちや歴史を色濃く反映する。立正大学は、天正 8 年 (1580) に設立された日蓮宗の教育機関「飯高檀林」を起源とする。その長い歩みを裏付けるように、立正大学図書館も数多くの貴重書・古典籍を所蔵する。

蔵書の核となるのは、日蓮宗の信仰を支えた仏書、すなわち第 1 章で紹介される日蓮聖人の遺文や日蓮宗に関わる経典である。また、貴重な古刊本が多いことも蔵書の特長の一つだ。そもそも、日本で貨幣経済が発達して商業出版が行われるようになるのは江戸時代以降。それ以前の出版とは、寺院における仏典の刊行だった。仏陀の教えを広めるために、写経と同様、経典の出版が重要視されたのである。第 2 章には、宋版・元版・明版・春日版・五山版・古活字版等々、書誌学的に重要な古刊本が惜しげもなく並べられている。印刷・出版と宗教との結びつきがそれだけ強かったことを具体的に示していて興味深い。

ただし、立正大学図書館がこうした蔵書に富むことは、ある意味で必然であるといえる。しかしながら、第 3 章以下で紹介される蔵書、とくに第 4 章と第 7 章の資料群は、仏教系の大学としての立正大学のイメージを、良い意味で大いに裏切るものであろう。これらの蔵書からは、明治期に西洋の学問体系を受け入れて以来、総合大学として発展を続ける立正大学の社会に対する眼差しを読み取ることができる。つまり、大学図書館での蒐書というものが、それぞれの大学が信奉する価値観を体現させる作業であるならば、立正大学図書館ではそれが現在でもしっかり行われており、第 7 章の最後を飾る「ゲーテンベルク 42 行聖書 零葉」の収蔵が、それを象徴的に示すのである。

以上の言が誇大でないことは、本書の最後に収録された「立正大学図書館の歴史」を読めば、よく了解されよう。さまざまな大学図書館から善本図録の類は数多く刊行されているが、これほど詳細な自らの歴史を掲載した図録はまずない。先人たちの活動の上に、あらたな歴史を刻んでいこうとする、現在の図書館スタッフの方々の熱意が力強く伝わってくる。細部に至るまで行き届いた意匠を凝らしたデザインも素晴らしい。まさに、開学 150 年を誇る立正大学の歴史を凝縮した一冊である。

立正大学文学部教授 伊藤 善隆

善本150選 収録明細

第一章 日蓮と日蓮宗

録内御書〔古活字版〕	国訳妙法蓮華經
録内御書〔寛永十九年版〕	立正安国論私見聞
録内御書〔寛文九年版〕	〔日遠法華曼荼羅本尊〕
日蓮聖人註画讃〔寛永二年版〕	四土即離精
日蓮聖人註画讃〔寛永九年版〕	通利抄
日蓮上人御法海	〔日乾法華曼荼羅本尊〕
高祖御一代略図	問要
蒙古賊舟退治之図	本迹事
〔日蓮聖人涅槃図〕	破奥記
〔日蓮上人絵伝図〕	問答抄
妙法蓮華經	三師標題
妙法蓮華經〔春日版〕	御書録内綱目
〔文段法華經〕	法華問答正義抄
妙法蓮華經〔仮名書き〕	身延鑑
妙法蓮華經〔日相本〕	身延山絵図
〔懷中〕妙法蓮華經	〔身延山鳥瞰図〕
妙法蓮華經〔新居日薩訓点本〕	安房国清澄寺風景
妙法蓮華經〔袖珍銅版〕	武蔵百景之内 池上本門寺
妙法蓮華經〔袖珍銅版〕	〔お会式役者絵〕

第二章 古刊本と古活字版

大般若波羅蜜多經 卷第八十一〔東禅寺蔵〕	摩訶止観科解〔宗存版〕
大般若波羅蜜多經 卷第五百十七〔東禅寺蔵〕	雑阿含經〔天海版〕
宗鏡録〔開元寺蔵〕	重刊貞和類聚祖苑聯芳集
聯燈会要	大慧普覚禅師年譜
〔南京報恩寺版大蔵經〕	金剛般若波羅蜜經註解 般若波羅蜜多心經註解
妙法蓮華經要解	法華玄義序
〔万曆〕大明会典	仏祖歴代通載
新刻京本按鑑演義合像三国志伝	止観義例
大般若波羅蜜多經〔春日版〕	大乘止観法門宗円記
	金鑄論私記

法界次第初門
山家緒余集
帝鑑図説 前集
真言宗教時問答

〔光悦謡本〕①ひがき
〔光悦謡本〕②華がたみ
〔光悦謡本〕③班女
法華秀
三大部私記條箇

第三章 物語と和歌

古今和歌集
新古今和歌集
詠草和歌聞書
今川家集
伊勢物語
平家物語
〔大織冠〕
〔大織冠〕
ふんしやう
〔長恨歌絵巻〕
枕草紙四季絵詞
〔信貴山縁起絵巻〕
保元物語
平治物語

絵入源氏物語
風流 仁徳天皇名歌竈
頼光太平礎
倭紫田舎源氏
新編金瓶梅
身延詣道中滑稽花の鹿毛
桃太郎〔ちりめん本、平紙本〕
老鼠告状〔ちりめん本〕
カルマ〔ちりめん本〕
因果の小車
瘤取り〔上方ちりめん本〕
瘤取り
わんぱくものがたり

第四章 異国関連資料

〔首里那覇古絵地図〕
〔真珠湊碑文拓本〕
〔崇元寺下馬碑拓本〕
琉球談
琉球礼
琉球人御次第書
天保三年壬辰十月観琉球使船発浪花登伏水長歌
琉球人行列道順附
御免 琉球人行列附
沖縄縣旅行日誌

〔長崎和蘭陀屋舗図〕
長崎阿蘭陀船出島絵巻
出島阿蘭陀屋舗景
米国使節彼留理一行来朝図解
亜墨利加蒸気車・力士力競
〔尾形至写図〕
解体新書
仏語明要
ジャパン・パンチ
点石斎画報

第五章 絵図と双六

〔品川台場及沿岸絵図〕
南瞻部洲万国掌菓之図
〔江戸名所絵〕
〔富士参詣案内図〕
参宮上京 道中一覽双六
新版東海道五十三次行列双六

証果増進之図
〔四季の花やしき〕
新版画合源氏双六
〔風流源氏うたがるた〕
〔紫式部源氏かるた〕

第六章 書写資料・自筆本

華嚴經入法界品〔サンスクリット語写本〕
八千頌般若經〔チベット語訳写本〕
関原戯乱之図
俗語解
三丁集
〔藤井頭明日記〕

〔治療日誌〕
〔河口慧海草稿〕
〔山上ノ泉草稿〕
『新居日薩』編輯資料
容月和上印譜
〔石橋湛山履歴書〕

第七章 西洋古版本

イエズス会極東通信
日本王国誌
東インド会社遣日使節紀行
著名武将列伝
日本誌
万国民の現代史
朝鮮・琉球航海記
日本国の知識への寄与
アンドラーデのチベット王国記
ベルニーニの宣教記録
チベット使節記

西藏旅行記
解剖書
小宇宙鑑
草木誌
日本語辞書
日仏辞典
ルター全集
自然史陳列室
遺留分とその道徳的・経済的影響の歴史
コロンビアの求愛
グーテンベルク 42 行聖書 〔零葉〕